



文献講読『援助の中心にあるもの： 共感性とヒーリング・プレゼンスの創造』

講師：上嶋 洋一（うえじま よういち）

本講座は、昨年度から読み始めた、向精神薬に頼らず精神科疾患治療の道を探求している精神科医ピーター・ブレギン（Peter Breggin）の、精神療法に関する主著『援助の中心にあるもの：共感性とヒーリング・プレゼンスの創造（*The Heart of Being Helpful: Empathy and the Creation of a Healing Presence*）』（1997年）を、第6章の「共感性が私たちを過度に傷つきやすくしてしまうことはないのだろうか？」から読んでいきます。各章、独立して読める書き方になっていますので、途中からご参加下さっても十分学んで頂けると思います。文献の講読をとりあえずの入口にしながら、関連文献を読んだり、休憩したり、浮かんできた各自の体験や思いを分かち合ったり、また文献に戻ったりという、つまり「パーソンセンタード・アプローチをパーソンセンタードな形で」学びながら、私たち自身のカウンセリング観を育み深める一助にできればと願っています。受講生の皆様には訳文を事前にお送りします。

【日程】 2025年5月～2025年1月 原則第2日曜 全8回
2025/5/11, 6/8, 7/13, 9/7(第1日曜), 10/5(第1日曜),
11/9, 12/14, 2026/2/8

【時間】 10:00～12:00 1回2時間

【受講料】 30,000円(消費税10%込)+年会費3,000円

【定員】 16名

【会場】 ONLINE 研修

【申込方法】 <https://www.npo-cesc.or.jp> 申込フォーム、または右 QR コードから



特定非営利活動法人
カウンセリング教育サポートセンター

〒141-0031

東京都西五反田 5-5-2-303

TEL: 03-6766-1015

URL: <https://www.npo-cesc.or.jp>

上嶋 洋一(うえじま よういち):

1952年大阪生まれ。東京教育大学、筑波大学大学院を経て、定時制の看護学校、夜間の保育専門学校、短期大学、大学などでカウンセリング関連の授業を担当。元・千葉商科大学学生相談室カウンセラー。研究領域は、来談者中心療法および実存主義的アプローチを手掛かりにしたカウンセリングの中核条件の探求。

本講座は、ONLINE 研修です。皆様はご自宅から受講いただけます。

必要なものは、パソコン、スマホ、タブレット等です。スマホ、タブレットの場合、あらかじめアプリをインストールしてください。ダウンロードは <https://zoom.us/download>

■本研修受講については、自宅等でプライバシーが十分に守れる場所での Web 接続と内容に対する守秘義務を遵守していただきます。

■場合によっては、電波の障害などで繋がりが悪くなる場合があります。電波の強弱の確認をお願いします。以上のことに同意をお願い申し上げます。